

八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

こっこめ通信

07 2006

「今年もまた来ました」号

6月9日、平年より一日遅れて梅雨入りとなりました。梅雨入りしてから毎日の平均相対湿度は90%近くになっています。ムシムシ・ジメジメした島らしい梅雨、ちょっと動いてもじんわりと汗が出てきます。

山に入るとあちらこちらからキノコが顔を出しています。またウスカワマイマイなどカタツムリの仲間も、大量に発生しているようです。梅雨を喜ぶ生きものたちもたくさんいるんですね。

さて、今回は、NHKのニュースでも取り上げられた「アカウミガメの産卵」と「八丈島で見られるカミキリムシ」についてのお話です。

アカウミガメの産卵

6月14日、底土海水浴場でアカウミガメの産卵がありました。過去、底土海岸では、1999年6月26日、2002年6月22日、2005年6月28日、の3回産卵があり、今回が4回目になります。今回は「えっ！？ここに産むの？」というくらい海に近いところでした。

産卵場所を『ここ！』と決めたらすごい勢いで掘り始め・掘ること30分弱。穴の深さは40センチ位はあ



りそうです。しばらくすると、穴の上にべたっと腰を据え・・・「あれ？もしかして・・・もう産む？」という雰囲気。

「う～ん」という声が聞こえそうなくらい、どうやらきぼっている様子。ドキドキしながら見ていると、あれ？後ろ両足が上にぴくっと動いた！と思ったら・・・卵がポロリ。「出たあ～っ！！」みんなの歓声が上がりました。

(カメにしてみれば、さぞ迷惑だったでしょうね。)そして、産み始めたら5分間隔くらいで『きばる→産む→休む』を10回近くは繰り返したと思います。(一回につき3・4個位は産んでいたようです。)

産み終わってからも休む間はなく、今度は産んだ卵に砂をかけ始めました。お母さんは忙しいんです～！

また、この砂のかける量といったら・・・！自分が砂と同化してしまうほど。途中何度か動かなくなってしまう、みんなで「ガンバレ～」のコール。頑張った甲斐あって、砂浜は何事もなかったかのようにきれいになりました。

みんなの熱い声援を受けたお母さんは、力強く歩き始め、午後7時40分頃、大海原に帰って行きました。

こんなに頑張って産んだのだから、なんとか無事に孵ってほしいものですね！！

孵化までの日数はおおよそ60日前後とみられます。順調にいけば8月上旬には子ガメが見られるかも・・・？

「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。

八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

八丈島で見られるカミキリムシ

八丈島で記録・観察されているカミキリムシは50種(ビジターセンター調べ)。中には、標本として残っているが、以後観察されていないものもあります。カミキリムシは、愛好家や研究者が多いため、その多くが亜種レベルまで分類されています。和名に「ハチジョウ」や「イズ」などが多く付いているのもそのためです。

もうすでに発生が終わってしまっている種類もありますが、これから見られる種類も多いので、ぜひ探して、観察してみてください。



ハチジョウビロウドカミキリ



アラカワシロヘリトラカミキリ



イズドイカミキリ



イズニセビロウドカミキリ



ゴマダラカミキリ



トラフホンバナカミキリ

和名	学名
ベーツヒラタカミキリ	<i>Eurypoda batesi</i>
ハチジョウトゲウスバカミキリ	<i>Megopis (Spinimegopis) formosana hachijoana</i>
ウスバカミキリ	<i>Megopis (Aegosoma) sinica sinica</i>
ノコギリカミキリ	<i>Prionus insularis insularis</i>
アマミコバナカミキリ	<i>Psephactus remiger insularis</i>
ツシマムナクボカミキリ	<i>Cephalallus unicolor</i>
ケプトハナカミキリ	<i>Caraphia lepturoides</i>
ハチジョウトビイロカミキリ	<i>Allotraeus insularis yamagamii</i>
ヨコヤマヒメカミキリ	<i>Ceresium holophaeum</i>
リュウキュウヒメカミキリ	<i>Ceresium fuscum fuscum</i>
ニホンチャイロヒメカミキリ	<i>Ceresium simile flavopubescens</i>
トラフホンバナカミキリ	<i>Thranium variegatum variegatum</i>
ヒメスギカミキリ	<i>Callidiellum rufipenne</i>
タケトラカミキリ	<i>Chlorophorus annularis</i>
クロトラカミキリ	<i>Chlorophorus diadema inhirsutus</i>
フタオビミドリトラカミキリ	<i>Chlorophorus muscosus</i>
ヤエヤマトラカミキリ	<i>Chlorophorus yayeyamensis</i>
トゲヒゲトラカミキリ	<i>Demonax transilis</i>
イズキュウシュウチビトラカミキリ	<i>Perissus kiusiuensis hisamatsui</i>
ヒメクロトラカミキリ	<i>Rhaphuma diminuta</i>
ハチジョウムネマダラトラカミキリ	<i>Xylotrechus grayii hachijoensis</i>
トラフカミキリ	<i>Xylotrechus chinensis</i>
アラカワシロヘリトラカミキリ	<i>Anaglyptus (Anaglyptus) arakawae arakawae</i>
ナガゴマフカミキリ	<i>Mesosa (Aphelocnemia) longipennis</i>
ハチジョウウスアヤカミキリ	<i>Bumetopia oshimana heiana</i>
オキノエラブカノコサビカミキリ	<i>Apomecyna naevia iriei</i>
アトモンチビカミキリ	<i>Sybra (Sybra) oshimana</i>
ハチジョウハネナシチビカミキリ	<i>Neosybra hachijoensis</i>
ハスオビヒゲナガカミキリ	<i>Cleptometopus bimaculatus</i>
ハイイロヤハズカミキリ	<i>Niphona furcata</i>
ワモンサビカミキリ	<i>Pterolophia annulata</i>
アトモンサビカミキリ	<i>Pterolophia granulata</i>
アトジロサビカミキリ	<i>Pterolophia zonata</i>
マツノマダラカミキリ	<i>Monochamus alternatus</i>
ゴマダラカミキリ	<i>Anoplophora malasiaca</i>
センノカミキリ	<i>Acalolepta luxuriosa luxuriosa</i>
ハチジョウビロウドカミキリ	<i>Acalolepta hachijoensis</i>
イズニセビロウドカミキリ	<i>Acalolepta sejuncta izuinsulana</i>
ハチジョウヤハズカミキリ	<i>Uraecha gilva hachijoensis</i>
オキナワキボシカミキリ	<i>Psacotheta hilaris tenebrosa</i>
イズトカラコブヒゲカミキリ	<i>Rhodopina tokarensis komiyai</i>
イズクモノスモンサビカミキリ	<i>Graphidessa venata takakuwai</i>
ハチジョウチビコブカミキリ	<i>Miccolamia (Isoniccolamia) inspinosa</i>
コゲチャサビカミキリ	<i>Mimectatina meridiana ohirai</i>
イズドイカミキリ	<i>Mimectatina divaricata similis</i>
キイロアラゲカミキリ	<i>Penthides rufoflavus</i>
ケシカミキリ	<i>Sciades (Miaenia) tonsus</i>
イズシラボシカミキリ	<i>Glenea relicta izuinsulana</i>
ハチジョウルリボシカミキリ	<i>Glenea chlorospila hachijonis</i>
キクスイカミキリ	<i>Phytoecia rufiventris</i>

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は6月11日(13時30分～15時)に行いました。

八丈植物公園季節調査(平成18年第6回)参加者・新堀、新堀、沖山、古謝、川畑、小野寺、奥、小山田、vc 菊池

NO.	和名 (島名)	状態	NO.	和名 (島名)	状態
草本			42	ベニバナボロギク	花
1	ドクダミ	花	43	ママコノシリヌグイ	花
2	ナギナタガヤ	花	44	ツルマオ	花と実
3	ナンゴクネジバナ	花	45	シチトウスミレ	閉鎖花
4	アオカモジグサ	実	46	アオノクマタケラン	実
5	ヒナギキョウ	花と実	47	シマウチワドコロ	蕾
6	シロバナマンテマ	花と実	48	アオツツラフジ	花と若い実
7	オニタビラコ	花	49	クサイ	花
8	ハハコグサ	花	50	ツルソバ	花と実
9	ヒメコバンソウ	実	51	ウスベニチチコグサ	花
10	キラソソウ	花	52	タケダグサ	花
11	ツメクサ	蕾、花と実	53	ノコンギク	狂い咲き?
12	チチコグサモドキ	花と実	54	シマササバラソ	花
13	コナスビ	花	55	マメゲンバイナズナ	花と実
14	ニワゼキショウ	花と実	56	テリハノブドウ	蕾
15	シロノセンダングサ	花と実			
16	コマツヨイグサ	花と実			
17	ハルジオン	咲き残り	木本		
18	ムラサキカタバミ	花	1	シチトウエビヅル	蕾
19	ウスベニニガナ	花	2	ガクアジサイ	花
20	ヒメジョオン	花	3	アカメガシワ	花
21	セイヨウタンポポ	花	4	トベラ	若い実
22	ネジバナ	咲き始め	5	モチノキ	実
23	アキノノゲシ	蕾	6	オオシマザクラ	実が残る
24	イヌガラシ	花と実	7	オオムラサキシキブ	咲き始め
25	トウバナ	実	8	ハチジョウキブシ	実
26	チチコグサ	花と実	9	タイムインタチバナ	実
27	ニラバラソ	花と実	10	ハチジョウイボタ	花
28	ヒメヨツバムグラ	花と実	11	モッコク	蕾
29	オオアレチノギク	花	12	タブノキ	実
30	コケミズ	実	13	ホルトノキ	蕾
31	コモチマンネングサ	花	14	ヒメユズリハ	蕾
32	オオニワゼキショウ	花と実	15	ヒサカキ	若い実
33	ウラジロチチコグサ	花	16	テイカカズラ	花
34	ヒメヌカボ	実	17	センダン	若い実
35	スズメノヤリ	実	18	イヌビワ	実
36	カニツリグサ	実	19	ハゼノキ	若い実
37	クグ	実	20	サカキカズラ	蕾
38	オオバコ	花と実	21	マンリョウ	花
39	スカシユリ	花			
40	コケリンドウ	花	今回は77種の植物を観察しました。		
41	ヒメクグ	実			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、公園内でも見られる「ハチジョウカラスアゲハ」にスポットを当ててみたいと思います。



ハチジョウカラスアゲハ

Papilio bianor hachijonis

アゲハチョウ科、カラスアゲハの八丈島亜種、八丈島に分布。

カラスアゲハとは、後翅の青い部分が濃いことや赤い紋がはっきりしていないことで区別されています。

春と夏の二回発生し、カラスザンショウでは卵や幼虫が見られます。

2006 八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
30 ガイドウォーク 07:25 01:40 20:13 13:46	31 08:08 02:18 20:36 14:15			この色の日は 特別行事があります		1 ガイドウォーク 07:34 02:09 21:09 14:20
2 ガイドウォーク 08:22 02:57 21:39 14:56	3 09:25 03:54 22:13 15:36	☾ 4 10:54 05:03 22:54 16:24	5 12:53 06:16 23:42 17:28	6 14:33 07:20 18:53	小暑 7 00:38 08:13 15:40 20:17	8 ガイドウォーク 01:34 09:01 16:31 21:21
9 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 02:26 09:45 17:15 22:12	10 03:15 10:29 17:55 22:56	○ 11 04:03 11:13 18:34 23:37	12 04:51 11:56 19:11	13 05:39 00:18 19:46 12:39	14 06:29 01:01 20:19 13:21	15 ガイドウォーク 07:22 01:47 20:50 14:02
16 ガイドウォーク 08:19 02:37 21:19 14:41	17 09:25 03:33 21:49 15:19	☾ 18 10:54 04:37 22:22 15:59	19 13:03 05:51 23:05 16:49	20 15:14 07:06 18:28	21 00:10 08:12 16:24 20:34	22 ガイドウォーク 八丈学講座 「川の生きもの観察会」 夏休み特別行事 「夜の昆虫観察会」 01:28 09:08 17:04 21:48
大暑 23 ガイドウォーク 夏休み特別行事 「三原山縦断 トレッキング」 02:34 09:54 17:35 22:33	24 03:28 10:35 18:03 23:07	● 25 04:14 11:12 18:28 23:37	26 04:54 11:46 18:50	27 05:32 00:06 19:11 12:18	28 06:08 00:35 19:31 12:48	29 ガイドウォーク 06:46 01:06 19:52 13:18

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
7/9 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

八丈学講座 「川の生きもの観察会」

毎月行っている八丈学講座。今月は、鴨川でエビやカニなど、川の生きものを探して観察します。
7/22 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上
鴨川ホテル水路集合・解散 参加費：100円 定員：15名

夏休み特別行事 「夜の昆虫観察会」

毎年恒例の夜の虫観察会。植物公園内で夜に活動する昆虫を探して観察します。
7/22 (19:30～ 約1時間半) 小学生以上 (低学年は保護者同伴)
ビジターセンター集合・解散 参加費：100円 定員：20名

夏休み特別行事 「三原山縦断トレッキング」

今年のコースは、防衛道路無線局から山頂、大池・小池から唐滝へ降りてきます。
7/23 (9:30～ 約6時間) 小学生以上 (低学年は保護者同伴)
ビジターセンター集合・解散 参加費：500円 定員：20名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2006.7.1 第62号

開館時間 9:00～16:45 年中無休 (入場無料)

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

E-mail：info@hachijo-vc.com

http://www.hachijo-vc.com

(ホームページでは「こっこめ通信」をカラーで見ることができます)

編集後記

今回、表紙のウミガメの記事は、生で見たウミガメ産卵の現場リポートとして“よ”が担当しました。臨場感が伝わってきただけでしょうか？
産卵場所は、波が被ってしまう場所なので心配ですが、孵化した時にはまた伝えていただきます！(高)